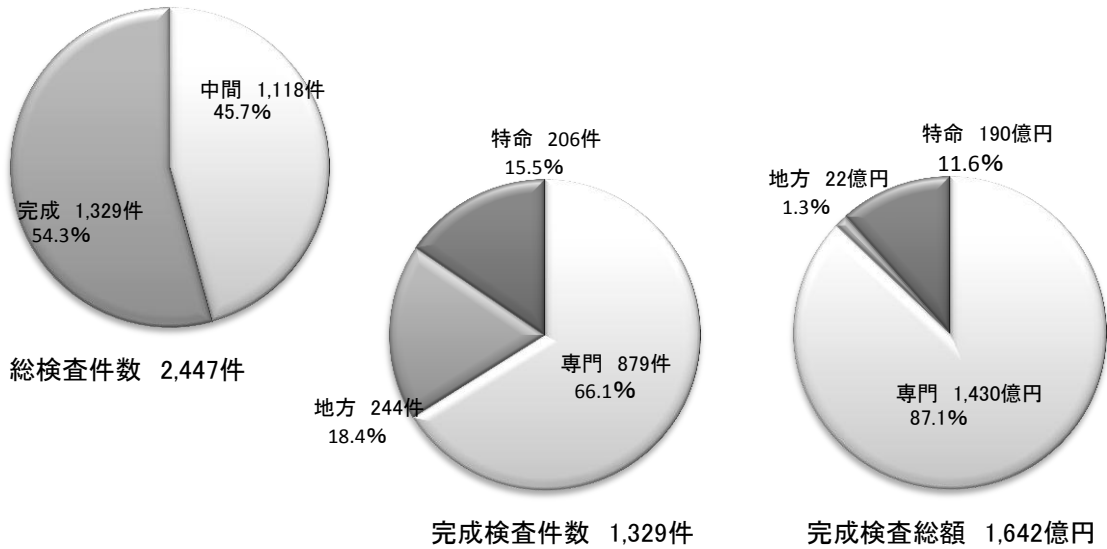


平成25年度の工事検査実績をとりまとめた結果は次のとおりです。
データ集計期間は、平成25年4月1日から平成26年3月31日までです。

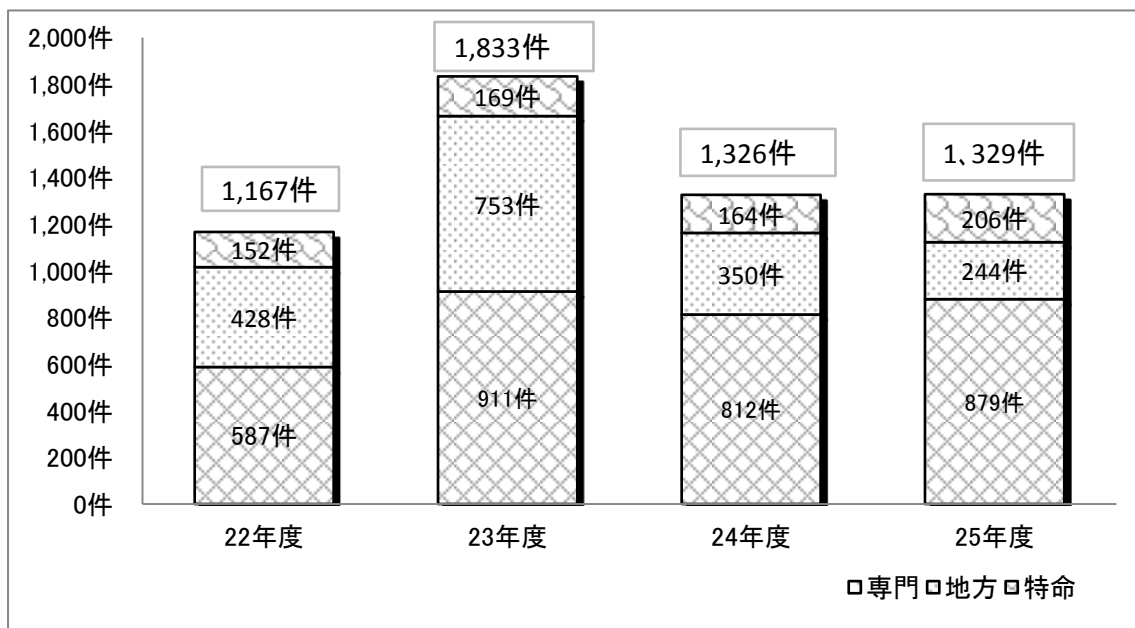
1 実績／全体

① 検査件数／完成／中間



◇平成25年度の総検査件数(専門・地方・特命検査員検査合計)は、2,447件でした。うち、完成検査は1,329件(54.3%)、中間検査は1,118件(45.7%)でした。
完成検査のうち専門検査員検査は879件(66.1%)、1,430億円(87.1%)でした。

② 検査件数／完成／推移



◇25年度完成検査件数は前年度から専門検査員検査と特命検査員検査が増加、地方検査員検査が減少し、合計で3件増加しました。

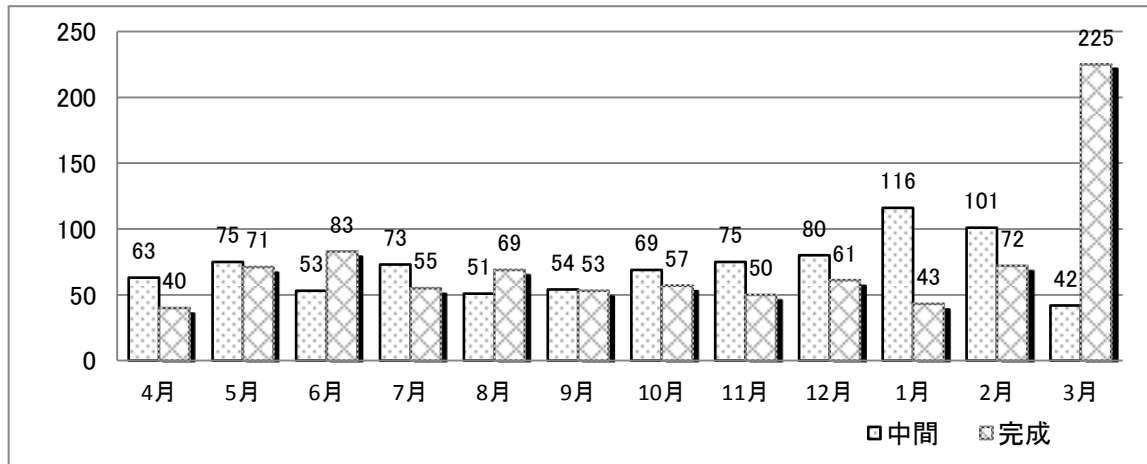
専門検査員は、検査課に所属し、主として契約額が2,000万円以上の発注工事を検査。

地方検査員は、県工事検査規定で定められた地方機関に配属され、契約額が2,000万円未満の当該機関発注工事を検査。

特命検査員は、主務課長又は所長に別に職員のうちから任命され、県工事検査執行要領の範囲内の工事を検査。

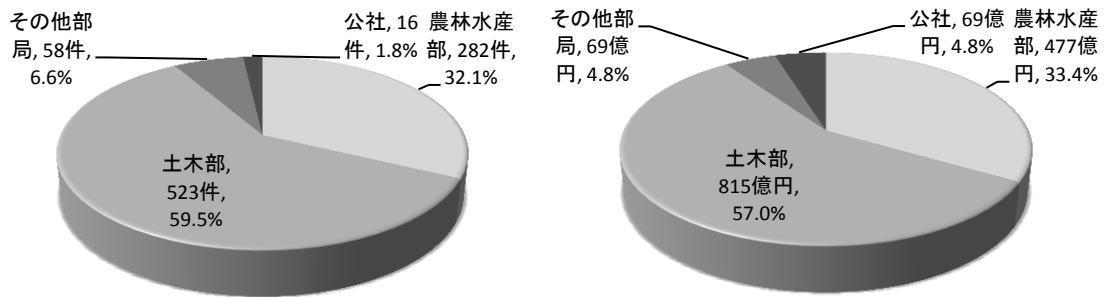
2 実績／専門検査員

① 検査件数／月別



◇月ごとの専門検査員の完成検査件数は、4月が最も少なく、3月が最も多くなり突出しました。
中間検査件数は1月と2月に100件を超え、顕著に多くなりました。

② 検査件数／完成／金額／部局別

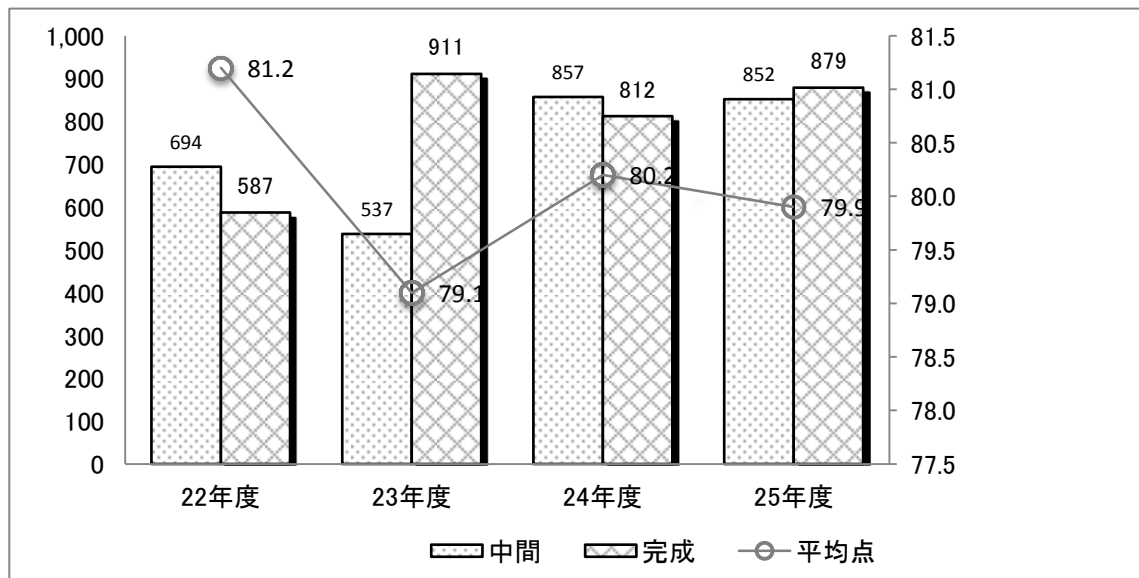


総検査件数 879件

完成検査総額 1,430億円

◇専門検査員の完成検査件数は農林水産部と土木部の工事で91.6% (金額で90.4%) を占めました。

③ 検査件数／平均点／推移



◇専門検査員の完成検査件数は前年度から67件の増、中間検査件数は5件の減となりました。
◇工事成績の平均点(考査を行った877件の平均)は、前年度から0.3点低くなりました。

3 中間検査の実施と工事成績／専門検査員

① 検査件数／平均点／中間検査実施率

◇完成検査は考査を行った工事を対象とする

	件数	合計点	平均点	中間検査実施率	備考	
H24	検査全体	1,665				
	■ 中間検査	857		106.1%	※1	
	■ 完成検査	808	64,824	80.2	73.9%	※2
	中間検査無	211	16,741	79.3		26.1%
	中間検査有	597	48,083	80.5		73.9%
	□ 低入札工事	129	10,412	80.7	73.6%	※2
	中間検査無	34	2,692	79.2		26.4%
	中間検査有	95	7,720	81.3		73.6%
	□ 非低入札工事	679	54,412	80.1	73.9%	※2
	中間検査無	177	14,049	79.4		26.1%
中間検査有	502	40,363	80.4		73.9%	
H25	検査全体	1,729				
	■ 中間検査	852		97.1%	※1	
	■ 完成検査	877	70,113	79.9	82.8%	※2
	中間検査無	151	11,979	79.3		17.2%
	中間検査有	726	58,134	80.1		82.8%
	□ 低入札工事	110	8,958	81.4	90.9%	※2
	中間検査無	10	775	77.5		9.1%
	中間検査有	100	8,183	81.8		90.9%
	□ 非低入札工事	767	61,155	79.7	81.6%	※2
	中間検査無	141	11,204	79.5		18.4%
中間検査有	626	49,951	79.8		81.6%	
前 年 比	検査全体	103.8%				
	■ 中間検査	99.4%			-8.9pt	
	■ 完成検査	108.5%		-0.3	8.9pt	
	中間検査無	71.6%		0.0		
	中間検査有	121.6%		-0.4		
	□ 低入札工事	85.3%		0.7	17.3pt	
	中間検査無	29.4%		-1.7		
	中間検査有	105.3%		0.5		
	□ 非低入札工事	113.0%		-0.4	7.7pt	
	中間検査無	79.7%		0.1		
中間検査有	124.7%		-0.6			

※1 見掛中間検査実施率:完成検査件数と中間検査件数の単純比率

※2 実質中間検査実施率:完成検査件数とそのうちの中間検査受検済みの完成検査件数の比率

※ 備考欄の「%」は中間検査”無”と中間検査”有”の割合を示す

◇平成25年度の専門検査員による検査件数は1,729件(考査無し2件を除く)で、前年度比103.8%(64件の増加)でした。

◇そのうち、中間検査は852件(前年度比99.4%)、完成検査は877件(前年度比108.5%)でした。

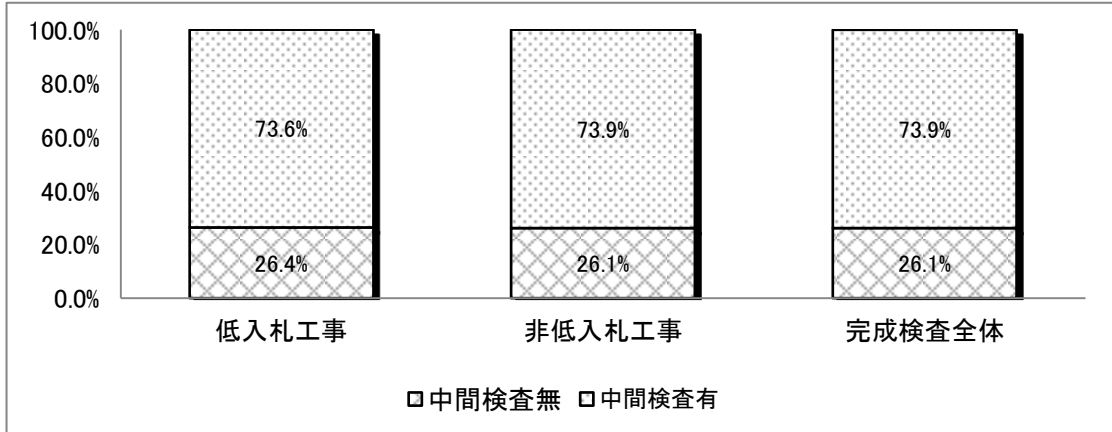
◇完成検査のうち、中間検査を一回以上受検した工事の割合は82.8%でした。

◇工事成績の平均点は、低入札工事では81.4点、非低入札工事では79.7点、全体では79.9点でした。

◇低入札工事と非低入札工事の平均点を比較すると、低入札工事の方がわずかに高く前年度と同様の傾向でした。

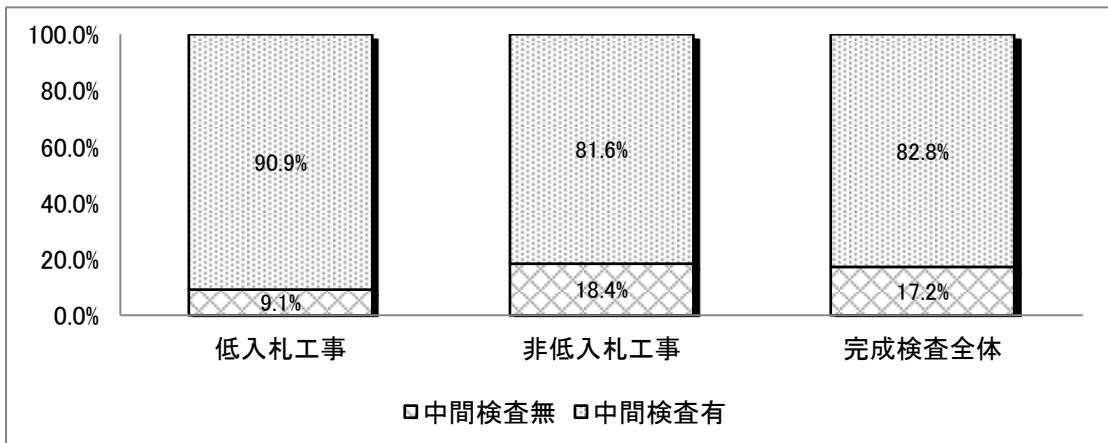
〔中間検査実施率の比較〕

H24年度



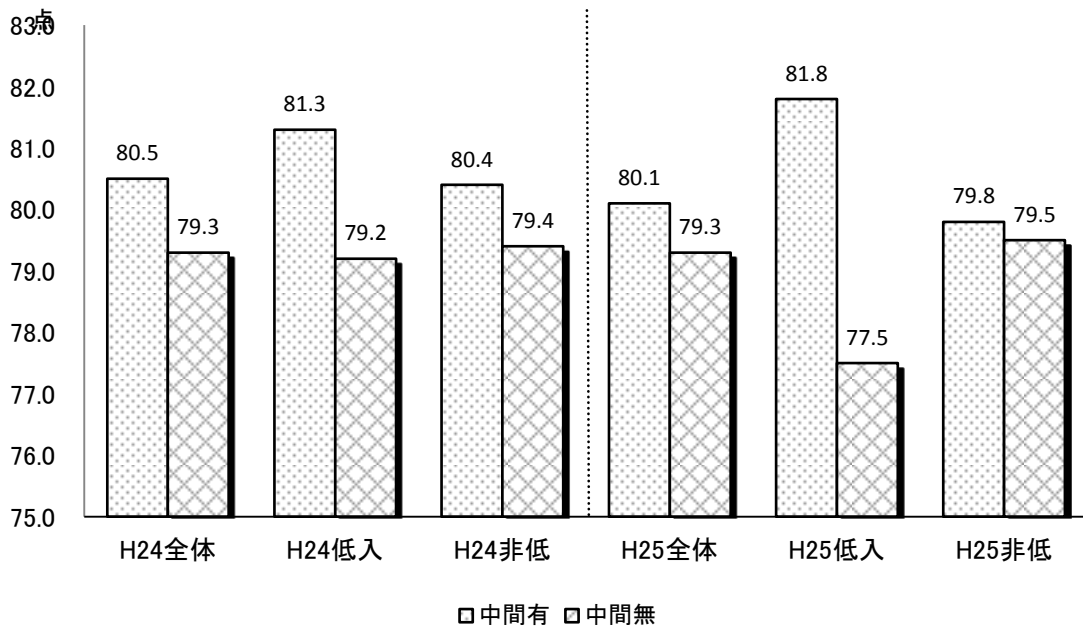
◇平成24年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は73.9%、うち低入札工事では73.6%、非低入札工事では73.9%でした。

H25年度



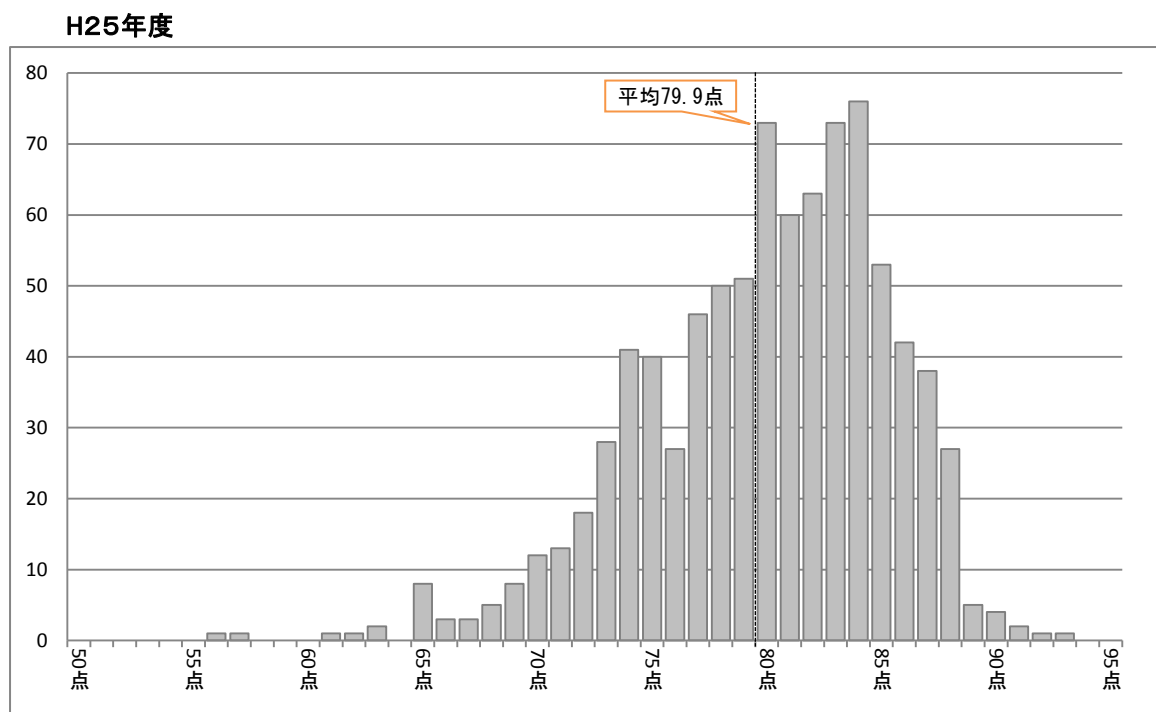
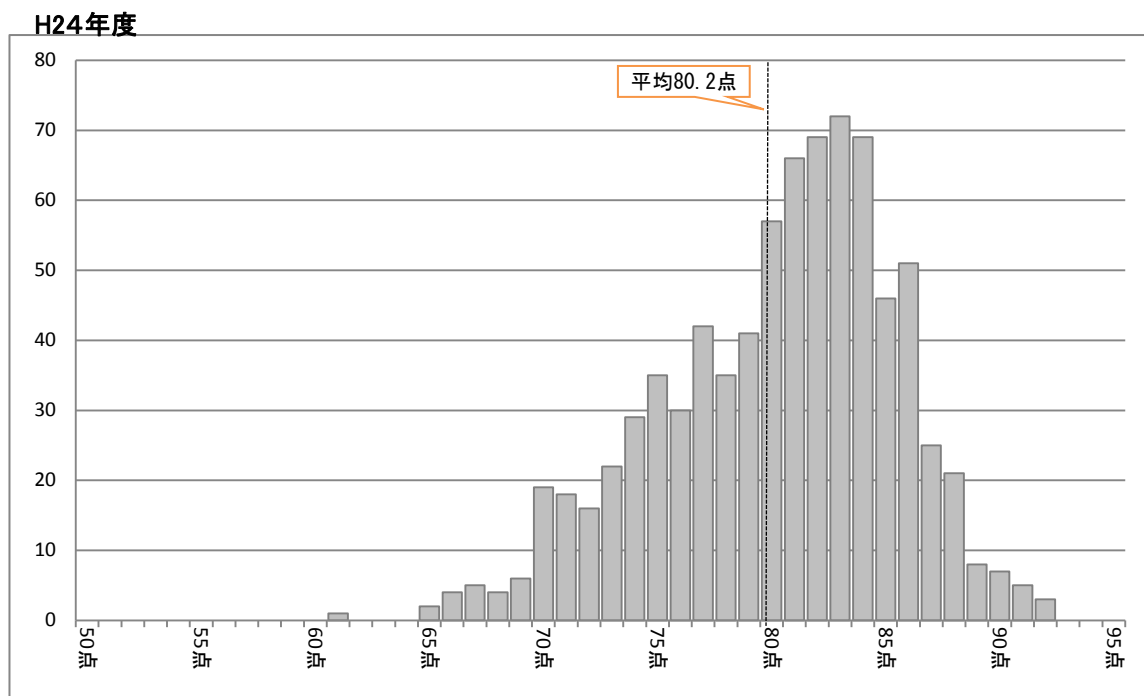
◇平成25年度に実施した完成検査において中間検査を一回以上受検した工事は82.8%、うち低入札工事では90.9%、非低入札工事では81.6%であり、前年度に比べ中間検査実施率が増加しました。

〔工事成績比較（平均点）〕



② 工事成績分布

【工事成績の分布】



◇平成25年度における工事成績平均点は79.9点、最頻値は84点でした。前年度と同様に高得点側に傾く傾向がありました。

4 平成25年度検査結果と今後の目標

完成検査件数は1,329件と前年度に比べ3件増加したのみでした。うち専門検査員による検査は879件と前年度に比べ約1割増加し、全体の66.1%を占め、地方検査員による検査は244件と前年度に比べ約3割減少し、特命検査員による検査は206件と前年度に比べ約2割増加しました。

専門検査員による完成検査の工事成績の平均点は79.9点と前年度(80.2点)に比べわずかに低くなりました。

中間検査実施率は82.8%となり、前年度に比べ8.9%増加しました。中間検査の促進については年度目標として掲げてきたものです。工事成績を中間検査の有無で分けると、中間検査を実施したもののほうがわずかながら平均点が高い傾向があります。

震災関連の復旧・復興の進捗に伴い検査件数の増加が想定されることから、これまで以上に建設工事の品質を確保する施策を推進するとともに、安全で高品質な公共施設提供のための適正な検査を実施してまいります。

品質確保のためには工事施工段階での確認や指導が有効な手段であることから中間検査実施率を高めるよう取り組むとともに、効率的な完成検査を実施し、客観性、公平性を確保し工事成績の評価に努めていきます。